

「さわやか」のひた  
ご覧ください

## 平成25年度 さわやか詩集



平成25年度の「さわやか詩集」には、小中学校あわせて1,362編の応募があり、昨年10月11日に開催された審査会（菅野昌和審査委員長）で入賞作品90編が選ばれました。

ここでは、「大滝清雄賞」と「さわやか大賞」に輝いた受賞作品を紹介します。ぜひご一読ください。  
なお、詩集は町図書館の「さわやか詩集」コーナーにあります。こちらもぜひ、ご覧ください。

### 「さわやか詩集」について

この「さわやか詩集」は、平成元年の町図書館開館当時から当町出身の詩人（故）大滝清雄さんの功績をたたえとともに、図書館の「大滝清雄文庫」の開庫を記念して毎年詩を募集し、優秀作品の表彰と詩集の発行を行っているものです。

### ～大滝清雄生誕100年&さわやか詩集発行25周年記念～ さわやか詩集表彰式 & 記念講演会

町教育委員会主催の「平成25年度さわやか詩集表彰式」が1月26日、町文化センター大ホールで開催されました。

表彰式では、受賞者に賞状と記念品が贈られ、入賞が称えられるとともに、菅野昌和審査委員長による選評が行われました。その後、入賞者自らによる作品の朗読発表が行われ、会場内には「こころのうた」が響きわたりました。

また、今年度は大滝清雄生誕100年とさわやか詩集発行25周年を記念して、絵本作家サトシンさんによる「絵本&おてて絵本よみまショー」と題した記念講演会が開催され、絵本やおてて絵本（両手を本に見立てた親子遊び）を通して、お話や表現、コミュニケーションの楽しさ、大切さなどに触れました。



### 大滝清雄賞

#### 「水って」

須藤 さくらさん  
（善郷小5年）

水 それは  
とつてもすてきなキャンパス  
自分の顔 景色 心の中  
全部すてきにうつしだしてく  
れる  
ああ なんてきれいな  
の

心もさつぱり すがすが  
しい  
この色 この冷たさ こ  
の感しよく

大きさは形は 目には見  
えないけど  
奥まで まだまだずっと  
続いているような気がす  
る  
もしかしたら その果て  
には  
水のようなせいの国とか  
あったりするのかなあ

### 大滝清雄賞

#### 「福島の海」

大竹 裕隆さん  
（矢吹中1年）

ぼくは久しぶりに海に行った  
震災後初めてだった  
しばらく行かない間に  
ずいぶん様子が変わっていた  
磯遊びをした海は立入禁止  
浜の近くの住宅地は土台ばかり

立ち寄った海水浴場は遊  
泳禁止  
未だに残る震災の傷跡  
改めておそろしいと思っ  
た  
早く前の様に海で遊べる  
様になりたい  
早く以前の福島に戻って  
欲しいです

### さわやか大賞

#### 「お母さんの手」

松山 咲菜さん  
（善郷小4年）

お母さんの手は まほうの手  
やさしくて あたたかい手  
泣いているとせなかを「ポン」  
私に 大きな力をくれる  
いつも お母さんの手が  
私の後ろで守ってくれる

つらい時 悲しい時  
助けてくれるまほうの手  
毎日 せんとく そっじ  
などを  
すぐに終わらせちゃう  
お母さんのまほうの手  
私の手も  
お母さんみたいな手にな  
りたいな

### さわやか大賞

#### 「学び」

増子 優里さん  
（矢吹中2年）

今私達に大切な事は学ぶとい  
うこと  
国語で言葉の大切さを学ぶ  
数学で数の大切さを学ぶ  
英語で世界共通語の必要性を  
学ぶ  
理科で物の理屈を学ぶ

社会で社会の在り方を学  
ぶ  
部活動では勝負の厳しさ  
と仲間の大切さを学ぶ  
学校では人としてのルー  
ルを学ぶ  
たくさんの人から  
たくさんのことを教えて  
もらっている  
ひとつひとつを大切に  
一歩ずつ歩もう  
人として 大きくなるた  
めに

### 平成25年度さわやか詩集入賞者

（敬称略）

- 大滝清雄賞 2名  
水って 善郷小5年 須藤さくら  
福島の海 矢吹中1年 大竹 裕隆
- さわやか大賞 2名  
お母さんの手 善郷小4年 松山 咲菜  
学び 矢吹中2年 増子 優里
- 入選 77名

- さわやか賞 9名  
なつやさい 善郷小1年 関根 悠菜  
えがお 中畑小2年 柏村 玲帆  
あじさい 善郷小3年 大塚 芹菜  
お米の力 矢吹小4年 井上 黎  
空 三神小5年 石川 由依  
不安 矢吹小6年 伊藤 愛奏  
乗馬 矢吹中1年 山口 光輝  
青空と幸せ 矢吹中2年 斎藤 真歩  
戦争の記憶 矢吹中3年 小椋可南子